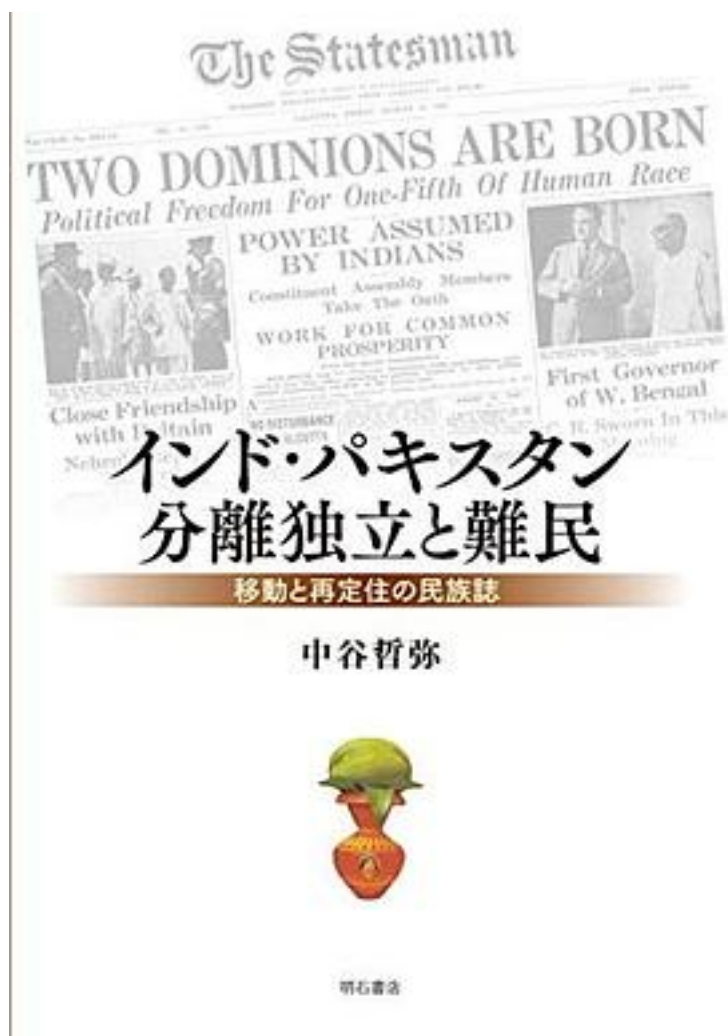


インド・パキスタン分離独立と難民——移動と再定住の民族誌



[インド・パキスタン分離独立と難民——移動と再定住の民族誌_ダウンロード1](#)

著者:中谷 哲弥

出版者:明石書店

出版时间:2019-6

装帧:平装

isbn:9784750348353

南アジア史の結節点である1947年インドとパキスタンの独立では、ヒンドゥー教徒はインドへ、イスラーム教徒はパキスタンへと大量の難民移動を生み出した。本書は東パキスタン難民を取り上げ、その移動と再定住、そして再定住先での地域社会の構築を描く。目次 まえがき 現地語表記について 図表一覧 序論
第1部:インド・パキスタン分離独立と難民問題 第1章
分離独立とヒンドゥー・ムスリム関係 第2章 分離独立による難民の発生と政策
第2部:農村部での再定住―西ベンガル州のボーダー・エリア 第3章
西ベンガル州・ノディア県における難民の移動と再定住 第4章
農村部での難民再定住の諸形態 第5章
ノモシュードロ:リハビリテーション活動と社会開発 第6章
カースト・アイデンティティと難民の記憶 第3部:大都市圏での再定住―首都デリー
第7章 デリーにおける東パキスタン避難民コロニー獲得運動 第8章
チットロンジョン・パーク:住民の属性と移動形態 第9章
生活空間の構築とベンガルをめぐる模索 第10章 近隣関係の構築と都市化・再開発
結論 あとがき 参考文献 索引

作者介绍:

中谷/哲弥

1961年生まれ。1990~92年在バングラデシュ日本国大使館専門調査員。1996年甲南大学大学院人文科学研究科博士後期課程単位取得退学。1996年奈良県立商科大学(現奈良県立大学)専任講師。2001~02年Delhi School of Economics(デリー大学)客員研究員。現在、奈良県立大学地域創造学部教授。博士(社会学)。専攻は文化人類学、南アジア地域研究(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録:

[インド・パキスタン分離独立と難民―移動と再定住の民族誌_ダウンロード1](#)

标签

民族问题

南亚研究

人类学

评论

[インド・パキスタン分離独立と難民――移動と再定住の民族誌 下载链接1](#)

书评

[インド・パキスタン分離独立と難民――移動と再定住の民族誌 下载链接1](#)